

第2学年

令和元年度

# シラバス

科目	枚数
● 基礎科目	2
● 教職教育科目	7
● 専門基礎科目	9
● 専門科目	15
● 関連科目	3

赤門鍼灸柔整専門学校

臨床教育専攻科



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/10	解剖体実習 皮切り
2	9/17	解剖体実習 上肢 1
3	9/24	解剖体実習 上肢 2
4	10/8	解剖体実習 下肢 1
5	10/15	解剖体実習 下肢 2
6	10/29	解剖体実習 胸部・腹部
7	11/12	解剖体実習 骨盤部
8	11/26	解剖体実習 背部
9	12/3	解剖体実習 頸部
10	12/10	解剖体実習 頭部
11	12/17	学生による解剖実習内容の説明と考察 1
12	1/7	学生による解剖実習内容の説明と考察 2
13	1/14	学生による解剖実習内容の説明と考察 3
14	1/21	まとめ
15	2/4	評価・点検

教科書	なし
参考書	寺田春水・藤田恒夫著 解剖実習の手引き 南山堂 ¥7,300(税引) 人体解剖学 藤田恒夫著 南山堂 ¥5,000(税引)
評価方法 評価基準	レポート及び実習中の口頭試問による ..... .....



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/10	扁鵲伝 (1)
2	9/17	扁鵲伝 (2)
3	9/24	扁鵲伝 (3)
4	10/8	扁鵲伝 (4)
5	10/15	華た伝 (1)
6	10/29	華た伝 (2)
7	11/12	華た伝 (3)
8	11/26	内経 (1)
9	12/3	内経 (2)
10	12/10	内経 (3)
11	12/17	傷寒論 (1)
12	1/7	傷寒論 (2)
13	1/14	傷寒論 (3)
14	1/21	傷寒論 (4)
15	2/4	評価・点検

教科書	
参考書	「内経」、「傷寒論」など
評価方法 評価基準	筆記試験で評価します ..... 古典の真意を理解します ..... ..... .....

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	症例検討臨床実習〔鍼灸〕 (第 2 学年 火曜日 後期 : 3・4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	患者さんの臨床情報を正確に認識し、カルテに東洋医学の弁証など正しく 記入できます

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
			\

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
			/
1	1/7	4	症例検討
2	1/14	3	症例検討
3		4	症例検討
4	1/21	3	症例検討
5		4	症例検討
6	2/4	3	症例検討
7		4	症例検討

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	患者さんの臨床情報を正確に認識出来るか否か ..... ..... .....

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	各課程臨床実習 (第 2 学年 火曜日 後期 : 3・4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	1. 臨床で患者さんの施術を通じて、東洋医学的な診察、弁証、診断、治療法を体得すること。 2. 患者さんの施術を通じて、診断、鑑別診断、治療、選穴などの臨床応変能力を習得する。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/10	3	患者さんの臨床治療を指導
2		4	患者さんの臨床治療を指導
3	9/17	3	患者さんの臨床治療を指導
4		4	患者さんの臨床治療を指導
5	9/24	3	患者さんの臨床治療を指導
6		4	患者さんの臨床治療を指導
7	10/8	3	患者さんの臨床治療を指導
8		4	患者さんの臨床治療を指導
9	10/15	3	患者さんの臨床治療を指導
10		4	患者さんの臨床治療を指導
11	10/29	3	患者さんの臨床治療を指導
12		4	患者さんの臨床治療を指導
13	11/12	3	患者さんの臨床治療を指導
14		4	患者さんの臨床治療を指導
15	11/26	3	患者さんの臨床治療を指導



後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/26	4	患者さんの臨床治療を指導
17	12/3	3	患者さんの臨床治療を指導
18		4	患者さんの臨床治療を指導
19	12/10	3	患者さんの臨床治療を指導
20		4	患者さんの臨床治療を指導
21	12/17	3	患者さんの臨床治療を指導
22		4	患者さんの臨床治療を指導
23	1/7	3	患者さんの臨床治療を指導
			/

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	臨床治療の技能の評価 ..... ..... ..... .....

平成 31 年度 東洋療法教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	医療概論 (第 2 学年 火曜日 前期 : 1 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	医療が対象とするヒトは身体機能と精神機能とから成り、人間としての尊厳を持つ。殊更、悩める患者に医療者として対応するとき、その心得は大切である。この視点に立って、本医療概論では、生命倫理、医療倫理、研究倫理などを概説し、「患者中心の医療とは」、「医療の安全とは」など、受講者と共に深く掘り起こしてみたい

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/9	個体と人 (ヒト)
2	4/16	健康の概論 1
3	4/23	老人として生きる・老いに伴う生理的变化
4	5/7	疾病の構造
5	5/14	ノーマライゼーションの考え方 社会変革の必要と医療従事者の役割
6	5/21	医療を支える人々・チーム医療
7	5/28	患者中心の医療
8	6/4	医療倫理の概論 (生命倫理、研究倫理等)
9	6/11	医療倫理の四原則
10	6/18	医療従事者と守秘義務
11	6/25	QOL を目指した現代医療
12	7/2	医療者の倫理
13	7/9	医療者—患者の倫理
14	7/16	医学—社会の倫理
15	8/6	評価・点検

後 期



平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体機能学論—微生物学・免疫学（第2学年 火曜日 前期：2時限目）
担当講師	
授業の目標 授業の概要	講義を通じて、(1)自然界とヒト体内で生存・活動している微生物の種類と生命活動（代謝、遺伝子発現および増殖様式）；(2)主な病原微生物（細菌、ウイルスおよび真菌）の特徴と感染症；(3)抗生物質の抗菌作用と薬剤耐性化の仕組み；(4)病原微生物に対する免疫（生体防御）の仕組み；(5)健康維持に重要な免疫の調節システム；および(6)ワクチンの仕組みと感染症予防などの基礎を理解・習得する。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/9	<b>微生物学総論</b> ：人間は、いつ感染症を発症させる病原微生物の存在に気付いたか？ 自然環境とヒト体内における微生物の生命活動（代謝と遺伝子発現）と役割
2	4/16	各論-1：グラム染色法による細菌の分類（陽性菌と陰性菌）と特徴 各論-2：好気性菌と嫌気性菌の種類と感染症および細菌性毒素の生理作用
3	4/23	各論-3：食中毒の原因菌の種類と特徴、および食材、感染ルートと感染予防
4	5/7	各論-4：結核菌の特徴、感染ルートおよび感染予防 各論-5：小児と高齢者が多発する感染症（風邪と肺炎）の特徴と予防
5	5/14	各論-6：細菌感染症の治療薬（抗生物質）の抗菌作用と薬剤耐性化の仕組み
6	5/21	各論-7：真菌（カビ）、マイコプラズマやリケチャの特徴と感染症
7	5/28	<b>ウイルス学総論</b> ：ウイルスの特徴（粒子の形態と構成）と細胞内での増殖様式
8	6/4	各論-1：DNA型およびRNA型ウイルスの主な特徴と感染症 各論-2：インフルエンザウイルスの大流行と新型ウイルス発生の仕組み
9	6/11	各論-3：肝炎ウイルスの種類と感染症の特徴 各論-4：インターフェロン（IFN）の抗ウイルス作用とIFNによる肝炎治療
10	6/18	各論-5：レトロウイルス（HIV-1）の特徴とエイズ（免疫不全症）の発症 各論-6：がんウイルス（HPVやHCV）によるがん発症の仕組み
11	6/25	<b>免疫学総論</b> ：人間は、何時どのようにして生体の「免疫」に気付いたか？ 各論-1：生体防御（自然免疫と獲得免疫）の仕組み
12	7/2	各論-2：骨髄幹細胞から免疫担当細胞の分化と免疫系での生理的役割 各論-3：抗原（病原細菌やウイルスなど）の識別と抗体産生の仕組み
13	7/9	各論-4：免疫系の調節（食材成分、運動や睡眠の免疫能との関係） 各論-5：免疫低下の主要因と感染症（風邪や肺炎）の発症
14	7/16	各論-6：ワクチンの理論と種類、および感染症の予防効果 各論-7：新しいがん治療法（免疫療法）の仕組み
15	8/6	<b>評価・点検</b> （本領域での重要課題の発表と自由論議、および総括）



平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学特論 I (第 2 学年 火曜日 前期 : 3 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	子午流注鍼法を臨床に応用できるまで学習します

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/9	子午流注鍼法の穴取法 (本経の補母瀉子法)
2	4/16	子午流注鍼法の穴取法 (本経の補母瀉子法の穴取法)
3	4/23	子午流注鍼法の穴取法 (時間で穴取法)
4	5/7	子午流注鍼法の穴取法 (経絡で穴取法)
5	5/14	子午流注鍼法の養子時刻注穴法-1 理論
6	5/21	子午流注鍼法の養子時刻注穴法-1 応用
7	5/28	霊亀八法の歴史
8	6/4	霊亀八法の原理
9	6/11	霊亀八法の応用
10	6/18	奇経八脈の分部、作用
11	6/25	霊亀八法と八脈
12	7/2	霊亀八法の時間計算
13	7/9	霊亀八法と穴取法
14	7/16	子午流注鍼法と霊亀八法
15	8/6	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	なし
参考書	「子午流注針経」、「実用子午流注鍼法」
評価方法 評価基準	出席状況、学習態度、試験成績の総合評価。 ..... ..... .....

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	卒業研究 (第 2 学年 火曜日 前期 : 4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	鍼灸按マ指（東洋療法）に関する課題を自ら見出し研究を行い、基本的な知識・ 技術・態度を修得し研修・学会での発表と臨床を集積して症例報告書の作成提出 講義演習、関連団体等発表会への参加

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/9	卒業研究論文及び臨床報告等について
2	4/16	上記計画書の作成
3	4/23	演習
4	5/7	演習
5	5/14	演習
6	5/21	演習
7	5/28	演習
8	6/4	演習
9	6/11	演習
10	6/18	中間発表 関連団体研修、学会への参加
11	6/25	演習
12	7/2	演習
13	7/9	演習
14	7/16	演習
15	8/6	中間発表 関連団体研修、学会参加等



後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	研究・論文作成 提出論文により評価 ..... ..... .....



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/13	公衆衛生学の目的、意義、疾病予防の概念、健康の定義
2	9/20	エビデンスに基づく医療
3	9/27	健康寿命、健康指標
4	10/18	[演習] フレイルとその予防・治療
5	10/25	現在の疾病構造の推移、特に精神疾患の増加
6	11/1	[演習] うつ病の病因と治療
7	11/15	[演習] 認知症のケア
8	11/22	五大疾病のうち、がんの定義、がんの原因、その予防法は何か？
9	11/29	がんの疫学
10	12/6	[演習] 乳がんとその予防・早期診断
11	12/13	糖尿病の疫学と発生要因、予防法
12	12/20	[演習] 低炭水化物栄養の課題と展望
13	1/10	高血圧、循環器疾患の基礎
14	1/17	[演習] 塩分摂取の抑制
15	2/7	後期試験（評価・点検）：演習課題の中から自由選択で小論文の作成

教科書	特に指定しない。
参考書	
評価方法 評価基準	演習では事前に資料を提供し、担当を決めて報告を行ってもらう。演習での報告や議論、及び後期試験（小論文の執筆）の成績で評価を行う。評価基準は、a) 客観的な事実を正しく把握しているか、b) すでに解明されたことと解明されていないことを区別し、c) 自身の意見をしっかりと述べることができるか、による。



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/13	組織学とは・細胞の構造
2	9/20	各論 1：骨の構造と組織
3	9/27	各論 2：筋の構造と組織
4	10/18	各論 3：リンパの構造と組織
5	10/25	各論 4：消化器の構造と組織 (口腔・食道)
6	11/1	各論 4：消化器の構造と組織 (胃・小腸・大腸)
7	11/15	各論 4：消化器の構造と組織 (肝臓)
8	11/22	各論 4：消化器の構造と組織 (膵臓)
9	11/29	各論 5：心臓の構造と組織
10	12/6	各論 6：呼吸器の構造と組織 (気管支)
11	12/13	各論 6：呼吸器の構造と組織 (肺)
12	12/20	各論 7：泌尿器の構造と組織 (腎臓・尿管・膀胱)
13	1/10	各論 8：生殖器の構造と組織
14	1/17	まとめ
15	2/7	評価・点検

教科書	特に使用しないが、毎回プリントを配布する。
参考書	なし
評価方法 評価基準	レポートと口頭試問により総合的に評価する。 ..... ..... ..... .....



後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
			/
1	12/20		問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
2	1/10		問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
3			臨床症例検討
4	1/17		問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
5			臨床症例検討
6	2/7		問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
7			臨床症例検討報告

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	問診票、カルテ、主訴等からの病態把握 (25) ..... 治療方針の決定、治療 (25) ..... 鑑臨床症例検討報告 (50) .....

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	各課程臨床実習 (第 2 学年 金曜日 後期 : 3・4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	診察法と治療法および対応法を実践により知る 手技療法による、症例別の治療法を知る 検査法等により、症例別の鑑別、適応、禁忌を知る 症例別による鑑別診断を、適切に説明する方法を知る

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/13	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
2		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
3	9/20	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
4		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
5	9/27	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
6		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
7	10/18	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
8		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
9	10/25	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
10		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
11	11/1	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
12		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
13	11/15	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
14		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
15	11/22	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療



後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/22	4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
17	11/29	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
18		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
19	12/6	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
20		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
21	12/13	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
22		4	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
23	12/20	3	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	問診票、カルテ、主訴等からの病態把握 (33) ..... 治療方針の決定、治療 (34) ..... 鑑別診断の適切な説明 (33) .....

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育方法 (第 2 学年 金曜日 前期 : 1 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	<p>授業の主体は学生である。学生が授業で深く学ぶことができるためには、すぐれた教材だけでなく、確かな理解を形成するための理解の方法が不可欠である。</p> <p>そのためには教えること中心の授業ではなく、学生自らが真実を追求していくことのできる教育方法を創り出していかなければならない。</p>

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/12	日本の学校教育はどんな課題をかかえているか
2	4/19	教科書中心の授業は学ぶ力を育てているか
3	4/26	覚えることと考えること、理解することの相違について
4	5/10	「問い」の必要性とはなにか
5	5/17	どんな「問」が深く学ぶために必要か
6	5/24	学ぶ過程での吟味の必要性
7	5/31	「わかる」ことだけでなく「わからないこと」の自覚の大切さ
8	6/7	理解を深めるために教育方法にどんなステップが必要か
9	6/14	教材の内容の構造と教育方法の構造化
10	6/21	学習者の知識、推論活動と教育方法の選択
11	6/28	教材の授業プラン作りの基本原則とは
12	7/5	学習資料の作成とその活用方法
13	7/12	学習資料の作成のテーマ別検討
14	7/19	授業方法の内容による選択の重要性について (まとめ)
15	8/9	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容

教科書	『生きる力を育む授業』新曜社 著者武田忠
参考書	随時紹介する
評価方法 評価基準	常になにが真実かを追求し続ける姿勢を評価する ..... ..... .....

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育実習 (第 2 学年 金曜日 前期 : 2 時限目)
担当講師	
授業の目標	確かな理解と学ぶ力、指導する力を養うための実習経験とその反省から授業の本質
授業の概要	について考える。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/12	授業とは何か
2	4/19	教える授業から学生が学ぶ授業への転換
3	4/26	学生が自ら学ぶことに中心を置いた授業の内容・方法
4	5/10	学ぶ活動に中心を置いた授業者の学生への働きかけ
5	5/17	発問の適切性と学生の反応の吟味
6	5/24	不適切な理解についてその理由の学生自身の再追及
7	5/31	教材内容の構造的ステップと学生の理解
8	6/7	参観授業から何を学ぶか (1) 教師の働きかけ
9	6/14	参観授業から何を学ぶか (2) 学生の学習参加と理解
10	6/21	基礎科目の授業プラン作りの原則
11	6/28	授業プランによる授業展開の適切性の吟味
12	7/5	各自の授業プランの作成と検討
13	7/12	授業プラに基づく模擬授業と評価
14	7/19	新たな授業創出のため課題は何か
15	8/9	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	
参考書	随時提示する
評価方法 評価基準	授業の内容、方法、模擬授業の構成、学生への対応力など総合的に評価する .....

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	症例検討臨床実習〔あま指〕 (第2学年 金曜日 前期：3・4時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	<p>1. 患者の身体的・心理社会的状態を的確に把握して施術を行い、その内容を正確にカルテに記録する。</p> <p>2. 施術した結果の中で課題となっている事項を取り上げて、その解決策について検討する。</p>

授業計画

前 期

回	月 日	時限	講義内容
			\

--	--	--

前期

回	月 日	時限	講義内容
			/
1	7/5	4	症例検討Ⅰ
2	7/12	3	症例検討Ⅱ
3		4	症例検討Ⅲ
4	7/19	3	症例検討Ⅳ
5		4	症例検討Ⅴ
6	8/9	3	症例検討Ⅵ
7		4	症例検討Ⅶ

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	<p>症例検討に積極的に取り組み、意見交換への参加状況および症例報告書の内容等を勘案し総合的に評価する。</p>

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	各課程臨床実習 (第 2 学年 金曜日 前期 : 3・4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	<p>1. これまで身につけてきた鍼灸あん摩マッサージ指圧療法等の専門知識や技術を、実際の臨床場面で適切かつ正しく能率的に応用する能力を育てる。</p> <p>2. 専門の知識や技術以外でも、臨床に必要な諸事項を体得し、治療者として自らを向上させていこうとする態度を養う。</p>

授業計画

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	4/12	3	授業ガイダンス 診察の進め方と治療効果の評価、カルテの記載等
2		4	外来患者の施術 (回診指導) 臨床倫理① 病と疾患、医療者患者関係
3	4/19	3	予約患者の確認 外来患者の施術 (回診指導)
4		4	外来患者の施術 (回診指導) 臨床倫理② かかわり行動
5	4/26	3	予約患者の確認 外来患者の施術 (回診指導)
6		4	外来患者の施術 (回診指導) 臨床倫理③ 医療面接の方法、質問の仕方
7	5/10	3	予約患者の確認 外来患者の施術 (回診指導)
8		4	外来患者の施術 (回診指導) 臨床倫理④ 傾聴
9	5/17	3	予約患者の確認 外来患者の施術 (回診指導)
10		4	外来患者の施術 (回診指導) 臨床倫理⑤ 支持と共感
11	5/24	3	予約患者の確認 外来患者の施術 (回診指導)
12		4	外来患者の施術 (回診指導) 臨床倫理⑥ 要約と確認
13	5/31	3	予約患者の確認 外来患者の施術 (回診指導)
14		4	外来患者の施術 (回診指導) 臨床倫理⑦ 焦点付け
15	6/7	3	予約患者の確認 外来患者の施術 (回診指導)



前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/7	4	外来患者の施術（回診指導） 臨床倫理⑧ 面接で聞き出すべきこと
17	6/14	3	予約患者の確認 外来患者の施術（回診指導）
18		4	外来患者の施術（回診指導） 臨床倫理⑨ 終結の仕方
19	6/21	3	予約患者の確認 外来患者の施術（回診指導）
20		4	外来患者の施術（回診指導） 臨床倫理⑩ 病歴聴取の実際の流れ
21	6/28	3	予約患者の確認 外来患者の施術（回診指導）
22		4	外来患者の施術（回診指導） 臨床倫理⑪ 医療面接の積極技法
23	7/5	3	予約患者の確認 外来患者の施術（回診指導）

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	出席を重視し、前期をとおしての実習態度及び各種実技の習熟度等を総合して評価する。 評定は、5段階評価で行う。



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/9	後期オリエンテーション
2	9/30	指導観・発達観の多様性
3	10/7	現職教師の指導観・発達観
4	10/21	しつけに対する考えの多様性
5	10/28	遊びと学びと教育①：遊ぶ子どもの姿から
6	11/11	遊びと学びと教育②：遊びを見守る大人の姿から
7	11/18	発達と学習に関する基礎理論
8	11/25	経験主義と理性主義：言葉の発達を例に
9	12/2	発達障害：幼児の事例から
10	12/9	特別支援教育と心理学
11	12/16	道徳性の発達と教育①：精神分析的理論，社会的学習理論，認知的発達理論
12	1/6	道徳性の発達と教育②：社会的認知理論と社会的領域理論
13	1/20	道徳性の発達と教育③：伝統的アプローチと発達のアプローチ
14	1/27	まとめにかえて：教育の現場の事例から
15	2/10	評価・点検

教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	指定しない。授業の中で紹介する。
評価方法 評価基準	試験，授業中に提示する小レポート，出席状況をもとに総合的に評価する。 ..... ..... .....



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/9	生化学序論 -生化学の基礎-
2	9/30	人体の構成成分
3	10/7	タンパク質の構造と働き
4	10/21	タンパク質の生合成と分解
5	10/28	解糖系と解新生系の調節
6	11/11	TCA サイクルと電子伝達系
7	11/18	ペントース経路とグリコゲン代謝の調節
8	11/25	アミノ酸代謝と生理活性物質
9	12/2	脂肪酸とステロイド
10	12/9	複合糖質とリン脂質
11	12/16	細胞内情報伝達の分子機構
12	1/6	遺伝子とその調節 -転写調節-
13	1/20	発生と増殖と分化
14	1/27	ビタミン
15	2/10	評価・点検

教科書	特になし
参考書	林典夫・廣野治子編集「シンプル生化学」 ¥2,900 (税引)
評価方法 評価基準	レポートを提出させ、それにより評価する。 ..... ..... ..... .....



後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
			/
1	1/6	4	① 症例検討（模範症例）
2	1/20	3	② 症例検討（症例報告）
3		4	② 症例検討
4	1/27	3	④ 症例検討（症例報告）
5		4	⑤ 症例検討
6	2/10	3	⑥ 症例検討（症例報告）
7		4	⑦ 症例検討（評価）

教科書	日本鍼灸医学基礎編（経絡治療学会編） ¥5,400(税引) 日本鍼灸医学臨床編（経絡治療学会編） ¥10,800(税引)
参考書	臓腑経絡からみた薬方と鍼灸 第一、二巻、たにぐち書店 各々¥7,000(税引) 臓腑経絡からみた薬方と鍼灸 第五巻（たにぐち書店） ¥8,095(税引)
評価方法	症例から経絡治療における病理考察ができる。授業への出席・態度
評価基準	試験結果（症例報告） 60% 出席状況 30% 授業態度 10%

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	各課程臨床実習 (第 2 学年 月曜日 後期 : 3・4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	目標 : 東洋医学概論に理論が実際に臨床に生かせる。 概要 : 病証病理を理解し、臨床に応用できる。 四診 (望聞問切) を理解し、臨床に応用できる。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/9	3	1 実習 (望診・聞診)
2		4	2 実習 (望診・聞診)
3	9/30	3	3 実習 (望診・聞診)
4		4	4 実習 (望診・聞診)
5	10/7	3	5 実習 (望診・聞診)
6		4	6 実習 (問診)
7	10/21	3	7 実習 (問診)
8		4	8 実習 (問診)
9	10/28	3	9 実習 (問診)
10		4	10 実習 (問診)
11	11/11	3	11 実習 (切診)
12		4	12 実習 (切診)
13	11/18	3	13 実習 (切診)
14		4	14 実習 (切診)
15	11/25	3	15 実習 (切診)



後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/25	4	16 実習 (病理・病証)
17	12/2	3	17 実習 (病理・病証)
18		4	18 実習 (病理・病証)
19	12/9	3	19 実習 (病理・病証)
20		4	20 実習 (病理・病証)
21	12/16	3	21 実習 (病理・病証)
22		4	22 実習 (病理・病証)
23	1/6	3	23 実習 (病理・病証)

教科書	日本鍼灸医学基礎編 (経絡治療学会編) ¥5,400(税引) 日本鍼灸医学臨床編 (経絡治療学会編) ¥10,800(税引)
参考書	臓腑経絡からみた薬方と鍼灸 第一、二巻、たにぐち書店 各々¥7,000(税引) 臓腑経絡からみた薬方と鍼灸 第五巻 (たにぐち書店) ¥8,095(税引) 温灸読本 (医道の日本社) ¥3,600 (税引) 1人で学べる脈診習熟ノート (上・下) (たにぐち書店) ¥7,000 (税引)
評価方法 評価基準	症例から経絡治療における病理考察ができる。授業への出席・態度 ..... 試験結果 (症例報告) 60% ..... 出席状況 30% ..... 授業態度 10%

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育心理学 (第 2 学年 月曜日 前期：1 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	教育という営みに貢献する心理学的知見を概説する。 「教育」という行為や、その対象となる子どもから大人までの人間一般に関する心理学の諸理論を学び、具体的事例を基に実際の教育や支援のあり方について考える。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/8	前期オリエンテーション・心理学とは何か
2	4/15	教育という行為に関する心理学：その 1 学習の理論
3	4/22	教育という行為に関する心理学：その 2 動機づけの理論
4	5/13	人間の発達に関する心理学：その 1 乳児期・幼児期について
5	5/20	人間の発達に関する心理学：その 2 児童期・青年期・成人期・老年期について
6	5/27	人を支援することに関する心理学：その 1 精神分析学・人間中心療法
7	6/3	人を支援することに関する心理学：その 2 行動療法・家族療法
8	6/10	支援の方法としての心理学：その 1 カウンセリングについて
9	6/17	支援の方法としての心理学：その 2 心理検査について
10	6/24	具体的事例から考える：その 1 精神障害
11	7/1	具体的事例から考える：その 2 心身症とストレス
12	7/8	具体的事例から考える：その 3 摂食障害
13	7/22	具体的事例から考える：その 4 発達障害
14	7/29	具体的事例から考える：その 5 認知症
15	8/5	評価・点検



平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体機能学論—生理学 (第 2 学年 月曜日 前期：2 時限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	人体の生理機能についてその意義と機構を理解する。 生理機能の基礎と調節機構を中心に授業する。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/8	序論—生理学の基礎—
2	4/15	呼吸の調節
3	4/22	血圧の調節
4	5/13	血糖の調節
5	5/20	消化と吸収と代謝
6	5/27	血液の機能
7	6/3	内分泌—ホルモン調節—
8	6/10	下垂体門脈の働き
9	6/17	神経 (総論)：構造と作用機構
10	6/24	神経 (各論)：中枢神経と末梢神経
11	7/1	感覚：視覚・聴覚・平衡感覚
12	7/8	食欲・体温・体液の調節
13	7/22	日周変動・月周変動
14	7/29	精神機能の調節
15	8/5	評価・点検





前期

回	月 日	時限	講義内容
1	7/8	3	症例報告モデルの検証
2	7/22	3	多角的診断による治療と症例検討カンファレンス
3		4	多角的診断による治療と症例検討カンファレンス
4	7/29	3	多角的診断による治療と症例検討カンファレンス
5		4	多角的診断による治療と症例検討カンファレンス
6	8/5	3	多角的診断による治療と症例検討カンファレンス
7		4	多角的診断による治療と症例検討カンファレンス

教科書	なし
参考書	『鍼灸学积難』(李 鼎 著、浅野 周 訳 ; 源草社 2000 年刊)¥4,000-(+税) 『日本鍼灸へのまなざし』(松田博公著、ヒューマンワールド)¥3,300-(+税)
評価方法 評価基準	治療カルテ 100 症例と症例報告 3 例(西洋系・中医系・経絡治療系)の提出と、その内容を評価基準とする。 ..... ..... .....

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	各課程臨床実習 (第 2 学年 月曜日 前期 : 3・4 時限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	テーマ : 鑑別診断と臨床力の向上 目標 : 鍼灸臨床のための弁証論治と西洋医学的鑑別診断の知識・技術のさらなる向上を目指す。 概要 : 日常遭遇しやすい病態・病証における鑑別診断と治療の技術を身に着ける。

授業計画

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	4/8	3	総合的診断情報の合理的な鍼灸臨床のための知識と技術の向上
2		4	以下同じ
3	4/15	3	
4		4	
5	4/22	3	
6		4	
7	5/13	3	
8		4	
9	5/20	3	
10		4	
11	5/27	3	
12		4	
13	6/3	3	
14		4	
15	6/10	3	



前 期

回	月 日		講 義 内 容
16	6/10	4	
17	6/17	3	
18		4	
19	6/24	3	
20		4	
21	7/1	3	
22		4	
23	7/8	3	

教科書	『臨床家のための基礎からわかる病態生理学』（北川美千代・小川卓良・垣生園子、医道の日本社可刊）¥5,040-(+税)
参考書	『特殊鍼灸テキスト』（北出勝利ほか編、医歯薬出版 2014 年刊）¥6,200-(+税)
評価方法 評価基準	ベストケースとワーストケースの症例報告の各 1 例(症例のカルテのうち、初診時および初回時・最近時のコピーを添付)のレポート提出の内容を評価基準とする。 ..... ..... .....

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/11	自分をつくり変える「学問」―田中正造の人生と林竹二の思想
2	9/18	人間になるための「学問」―林竹二の授業「人間について」
3	9/25	人間と教育への希望―林竹二と湊川高校生との出会い
4	10/9	生きることと学ぶこと―林竹二の湊川での「学問」
5	10/16	「賢い」とはどういうことか―林竹二の問い
6	10/23	教育の根底をなす「生命への畏敬」―須賀川養護学校の実践
7	10/30	自己の内なる力を引き出す医療と教育―乾達と林竹二の対話
8	11/13	教師に求められる力―斎藤喜博の実践
9	11/27	子どもが「見える」―斎藤喜博の自己訓練
10	12/4	技を「身につける」―西岡常一の仕事
11	12/11	技の伝承―小川三夫の挑戦
12	1/8	感性を育む教育―佐藤忠良の仕事
13	1/15	友情という関係―佐藤忠良と舟越保武
14	1/22	試験〈教育原理に関するレポート作成〉
15	2/5	評価・点検

教科書	なし。毎時間、必要な資料を配布する。
参考書	林竹二『教育の再生をもとめて』筑摩書房、西岡常一 他『木のいのち木のこころ』新潮文庫
評価方法 評価基準	講義の内容をふまえ、各自がさらに深く追求したいテーマを決め、学期末に、学びを振り返るレポートを作成する。レポートをもとに、受講者がお互いに意見を出し合い、討論する。毎回の講義での学習と、レポートの内容、報告、討論を、評価の材料とする。問題をどれだけ深く追求しているか、事実を具体的に分析しているか、医療・教育において自分の実践を創る指針を得ているか、を評価の観点とする。

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願いします。



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/11	<b>英語総論</b> ：(1) 医療分野で使用される英語の理解と習得法についての解説。 (2) 現在の英語力を把握するために、基礎的な <b>Test</b> を行う。 <b>Test</b> 結果と理解力により教材とプロセスの一部を変更する。
2	9/18	基礎-1： <b>Biology Textbook</b> (基礎生物学-1) の基礎生物学の正確な理解
3	9/25	基礎-2： <b>Biology Textbook</b> (基礎生物学-2) の基礎生物学の正確な理解
4	10/9	基礎-3： <b>Biology Textbook</b> (基礎生物学-3) の基礎生物学の正確な理解
5	10/16	基礎-4： <b>Basic Medical Science</b> (基礎医学-1) の基礎医学の正確な理解
6	10/23	基礎-5： <b>Basic Medical Science</b> (基礎医学-2) の基礎医学の正確な理解
7	10/30	基礎-6： <b>Basic Medical Science</b> (基礎医学-3) の基礎医学の正確な理解
8	11/13	<b>Article</b> (学術論文) の基本構成 - ①Introduction (研究の経緯と目的) ; ②Methods (実験と解析法) ; ③Result (実験結果やデータの説明) ; および ④Discussion (課題の重要点と新しい論理の提案) についての解説
9	11/27	実践-1： <b>Result</b> (教材-1) - 実験結果や情報データの記載内容の理解
10	12/4	実践-2： <b>Result</b> (教材-2) - 実験結果や情報データの記載内容の理解
11	12/11	実践-3： <b>Result</b> (教材-3) - 実験結果や情報データの要点のまとめ方
12	1/8	実践-4： <b>Discussion</b> (教材-1) の課題の重要点と論点の記載内容の理解
13	1/15	実践-5： <b>Discussion</b> (教材-2) に記すべき重要点と論点のまとめ方
14	1/22	実践-6：課題研究の <b>Abstract</b> (抄録) と <b>Summary</b> (要約) のまとめ方
15	2/5	完成 <b>Abstract</b> と <b>Summary</b> の発表、および本教科に関する自由論議と総括

教科書	(1) <b>配布資料</b> を用いて講義を行う。(2) <b>英和辞典</b> と <b>和英辞典</b> を必ず持参する。
参考書	日本医学英語教育学会編「総合医学英語テキスト」メジカルビュー社 ¥2,800 小林忠夫著「English for Science」南雲堂 ¥2,000 (+加税)
評価方法 評価基準	課題研究の <b>Abstract</b> と <b>Summary</b> の英文表現力を含めて総合的に評価する。 課題研究のまとめ、重要論点の指摘や発表での質疑応答を総合的に評価する。 講義での積極的な質問を評価に加える。



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/11	演習
2	9/18	演習
3	9/25	演習
4	10/9	演習
5	10/16	演習
6	10/23	演習
7	10/30	演習
8	11/13	症例報告の作成
9	11/27	〃
10	12/4	〃
11	12/11	12/中～下旬に卒業論文発表（学内）実施
12	1/8	↑ ↓
13	1/15	
14	1/22	論文校正
15	2/5	卒論の提出

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	研究・論文作成 提出論文により評価 ..... ..... .....





後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/11	常見病証の鑑別と治療（総論・疼痛）
2	9/18	常見病証の鑑別と治療（頭痛・頭重）
3	9/25	常見病証の鑑別と治療（視力および目のトラブル）
4	10/9	常見病証の鑑別と治療（耳痛・眩暈・耳鳴・難聴）
5	10/16	常見病証の鑑別と治療（鼻炎・副鼻腔炎・花粉症）
6	10/23	常見病証の鑑別と治療（口腔・歯・顔面のトラブル）
7	10/30	常見病証の鑑別と治療（肩凝り・頸部・上肢の疾患）
8	11/13	常見病証の鑑別と治療（上気道炎）
9	11/27	常見病証の鑑別と治療（背部痛）
10	12/4	常見病証の鑑別と治療（咳嗽・呼吸困難・動悸・胸焼け・胸部疾患）
11	12/11	常見病証の鑑別と治療（腹痛・便秘・下痢）
12	1/8	常見病証の鑑別と治療（腰痛）
13	1/15	常見病証の鑑別と治療（下肢の疾患）
14	1/22	常見病証の鑑別と治療（婦人科疾患）
15	2/5	評価・点検

教科書	『針灸治療大全』（張文朝進ほか編、相場美紀子ほか訳、東洋学術出版社刊）¥10,000-（+税）
参考書	『日本鍼灸医学（経絡治療・臨床篇）』（岡部素明ほか著、経絡治療学会刊）¥12,000-（税込）
評価方法 評価基準	試験結果のみ（ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある）

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	教育社会学 (第 2 学年 水曜日 前期 : 2 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	学校をはじめとした教育機関で行われる「教育」という営みについて、以下の視点から考えることができるようになることを目標とする。 ①私たちの社会のあり方は、教育にいかなる影響を及ぼし、そのあり方を規定しているか。②教育はこの社会をよりよくするために何ができるか。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/10	教育社会学とはどんな学問かー「社会」から「教育」をみる
2	4/17	学校という制度と時間・空間（1）ー近代国民国家と近代学校
3	4/24	学校という制度と時間・空間（2）ー学校の秩序と文化
4	5/8	教育と社会階級・階層（1）ー学校は格差を拡大する？
5	5/15	教育と社会階級・階層（2）ー学校は不平等是正のために何ができるか
6	5/22	学校教師とはどのような存在か（1）ー教師の抱える課題と困難
7	5/29	学校教師とはどのような存在か（2）ー「教員文化」とその組み替え
8	6/5	学校教師とはどのような存在か（3）ー教育改革と教師
9	6/12	ナショナリズムと教育・学校
10	6/19	授業とは何か（1）ー「学校知識」という視点から
11	6/26	授業とは何か（2）ー「教師 - 生徒関係」から
12	7/3	若者は今をどのように生きているか
13	7/10	学校から社会への＜移行＞はどうなっているか
14	7/17	これからの社会と教育
15	8/7	評価・点検



平成 31 年度 東洋療法教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	研究方法 (第 2 学年 水曜日 前期：3 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	目標：研究方法の基礎を学習し、実践する力を養う。 概要：先行研究論文から研究の基礎知識を学習し、自身の研究をデザインする。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/10	研究の意義、エビデンス、文献検索について
2	4/17	研究論文を抄読し、論文構造を考察する。
3	4/24	研究論文を抄読し、研究テーマを考察する。
4	5/8	研究論文を抄読し、研究テーマを考察する。
5	5/15	研究論文を抄読し、背景を考察する。
6	5/22	研究論文を抄読し、背景を考察する。
7	5/29	研究論文を抄読し、プロトコルを考察する。
8	6/5	研究論文を抄読し、プロトコルを考察する。
9	6/12	研究論文を抄読し、プロトコルを考察する。
10	6/19	研究論文を抄読し、結果を考察する。
11	6/26	研究論文を抄読し、結果を考察する。
12	7/3	研究論文を抄読し、全体を考察する。
13	7/10	研究論文を抄読し、全体を考察する。
14	7/17	各々の研究デザインを検討、考察する。
15	8/7	評価・点検



成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	古典講読 (第 2 学年 水曜日 前期 : 4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	漢文読解を通して中国・日本の伝統的な医学と医療の諸問題について、 研究する方法を身に着ける

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/10	オリエンテーション (漢文読解のしくみと勉強法)
2	4/17	『靈枢』口問篇の読解
3	4/24	『靈枢』口問篇にみる諸病
4	5/8	「未病」の記載
5	5/15	中国医学における病門の諸問題
6	5/22	曲直瀬道三の「医則五十七条」前半
7	5/29	曲直瀬道三の「医則五十七条」後半
8	6/5	曲直瀬道三と「老人医学」
9	6/12	『格致余論』養老論
10	6/19	『千金方』大医精誠の医療倫理 その1
11	6/26	” その2
12	7/3	「不失人情論」にみる医療の現場 その1
13	7/10	” その2
14	7/17	近代の医療倫理と伝統医療の倫理の比較
15	8/7	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	「漢文で読む『靈枢』」 増補改訂版（2018年）、アルテミシア
参考書	
評価方法 評価基準	1) 漢文が正しく読めていること、 2) 文献を正しく扱っていること を評価基準をし、レポート提出物で4割、定期試験で6割





後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/12	教育学の定義。教育の意味。
2	9/19	意識されない学習（視覚論）
3	9/26	無意識（Ⅰ） 文化人類学, 他
4	10/10	無意識（Ⅱ） 無意識を探る方法
5	10/17	単純化の原理
6	10/24	発問論（Ⅰ）
7	10/31	発問論（Ⅱ）
8	11/14	指導案（Ⅰ） 指導案の形態（歴史）
9	11/28	指導案（Ⅱ） 互除法の原理
10	12/5	授業観察の方法（Ⅰ） 授業中の心の変化（心と身体無意識・表情）
11	12/12	授業観察の方法（Ⅱ） 心の変化の様々な表れ（無意識・表情・連動）
12	12/19	授業研究（Ⅰ） 授業研究の目的
13	1/9	授業研究（Ⅱ） 教材開発の原則
14	1/16	教育と体系 教えるための体系 （周期表・楽譜の歴史）
15	2/6	評価・点検

教科書	なし。
参考書	毎回紹介する。
評価方法 評価基準	毎回の授業への参加度。授業への寄与。 試験成績。



後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/12	前期実習から学んだことを残された課題
2	9/19	教材理解、授業構成の適切性の吟味
3	9/26	学生への働きかけ、反応の対応の適切性の吟味
4	10/10	患者理解にはなにが問われているか
5	10/17	「問診、視診、触診、動診」等の活用
6	10/24	除外診断の判断を誤まらない
7	10/31	臨床授業から学ぶ（1）患者の体の見方
8	11/14	臨床授業から学ぶ（2）治療の取り組み方
9	11/28	臨床授業実習のための授業プランの作成と検討
10	12/5	臨床授業実習のための授業プランの模擬授業
11	12/12	各自の授業プランによる実技授業（1）
12	12/19	各自の授業プランによる実技授業（2）
13	1/9	授業の反省、評価、今後の課題
14	1/16	患者理解のための今後の課題はなにか
15	2/6	評価・点検

教科書	
参考書	随時提示する
評価方法 評価基準	臨床中心の授業プランの作成、患者の問題点の見方 治療プランのためのアプローチ、働きかけ方など総合的に評価する。



後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	12/19	4	講義：症例検討臨床実習の進め方について（オリエンテーション） 実習：予診問診票や施術録から読み取る病態状況の把握と治療方針検討
2	1/9	3	実習：予診問診票や施術録から読み取る病態状況の把握と治療方針検討 症例検討：施術前後の効果判定と適切な日常生活管理指導での再発防止
3		4	実習：予診問診票や施術録から読み取る病態状況の把握と治療方針検討 症例検討：施術前後の効果判定と適切な日常生活管理指導での再発防止
4	1/16	3	実習：予診問診票や施術録から読み取る病態状況の把握と治療方針検討 症例検討：施術前後の効果判定と適切な日常生活管理指導での再発防止
5		4	実習：予診問診票や施術録から読み取る病態状況の把握と治療方針検討 症例検討：施術前後の効果判定と適切な日常生活管理指導での再発防止
6	2/6	3	実習：予診問診票や施術録から読み取る病態状況の把握と治療方針検討 症例検討：施術前後の効果判定と適切な日常生活管理指導での再発防止
7		4	症例検討臨床実習で得た気づきと成果の発表・グループ討議 授業のまとめ総括

教科書	「あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>」（医道の日本社）等
参考書	配布資料プリント等
評価方法 評価基準	授業への出席・学習態度・参加意欲、実技に対する努力姿勢（20%） 試験（筆記試験）または（口頭試問＋実技試験）・レポート（50%） 臨床実習時における治療施術後の患者様満足度モニタリング（30%）

平成31年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	各課程臨床実習 (第2学年 木曜日 後期：3・4時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	<p>あま指治療に用いる手技療法や施術時介助法等を実際に行い、その必要性を理解し、患者さんに有効に施術治療サービス提供することができる。</p> <p>(1) 临床上多い症例へのあま指の手技を実践施術治療できるよう習得する。</p> <p>(2) 症例に対するあま指施術が有効であることを鑑別し、適切に説明できる。</p> <p>(3) 患者施術時に必要な介助法や対応法などを理解し応用実践できる。</p>

授業計画

後 期

回	月日	時限	講義内容
1	9/12	3	講義：あん摩マッサージ指圧の治療の実際と手順について（オリエンテーション） 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
2		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
3	9/19	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
4		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
5	9/26	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
6		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
7	10/10	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
8		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
9	10/17	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
10		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
11	10/24	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
12		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
13	10/31	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
14		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
15	11/14	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/14	4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
17	11/28	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
18		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
19	12/ 5	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
20		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
21	12/12	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
22		4	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
23	12/19	3	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討

「注」 試験日、評価点検日欄にはどちらかに○を付けてください。

教科書	「あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>」（医道の日本社）等
参考書	配布資料プリント等
評価方法 評価基準	授業への出席・学習態度・参加意欲、実技に対する努力姿勢（20%） 試験（筆記試験）または（口頭試問＋実技試験）・レポート（50%） 臨床実習時における治療施術後の患者様満足度モニタリング（30%）

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	人体形態学論（病理学） (第 2 学年 木曜日 前期 : 2 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	病理学は、「疾病」を学習対象とする最も基本的な学問である。「疾病」とは、人体の構造・機能に異常をきたしたものであるが、その種類・機序などは多彩である。本講義では、疾病全体についての概説を行うことにより、医学・医療に関する基本的な見識を得る。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/11	循環器の疾病
2	4/18	呼吸器の疾病
3	4/25	<b>顕微鏡実習</b>
4	5/9	消化器の疾病
5	5/16	<b>顕微鏡実習</b>
6	5/23	泌尿器の疾病
7	5/30	生殖器の疾病
8	6/6	<b>顕微鏡実習</b>
9	6/13	造血器の疾病
10	6/20	<b>顕微鏡実習</b>
11	6/27	内分泌系の疾病
12	7/4	神経系の疾病
13	7/11	運動器の疾病
14	7/18	感覚器の疾病
15	8/8	評価・点検



後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	特になし（プリント配布）
参考書	病理学概論（東洋療法学校協会編）医歯薬出版 わかりやすい病理学（岩田隆子監）南江堂
評価方法 評価基準	レポート作成とそれに関する試問 ..... ..... .....